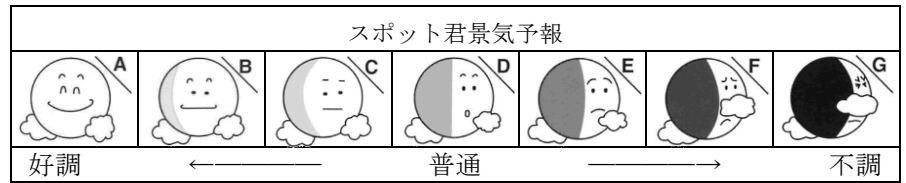


2. 目黒区内中小企業の景況（令和4年4～6月期）

（1）今期の特徴点



製造業



業況は△15.8で前期比5.8ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は△2.0で10.6ポイント増とかなり減少幅が縮小し、収益は△11.1で2.0ポイント増とやや改善し、資金繰りは△11.1で6.4ポイント増と大幅に窮屈感が緩和した。来期の見通しについては、業況は2.3ポイント減の△18.1と低調感がわずかに強まる見込み。

卸売業



業況は△36.0で前期比0.6ポイント増と前期同様の厳しさが続いた。売上額は16.3で24.4ポイント増と増加に転じ、収益は△14.0で1.9ポイント減と多少減益幅が拡大し、資金繰りは△6.3で4.0ポイント減と幾分窮屈感が強まった。来期の見通しについては、業況は10.2ポイント増の△25.8と厳しさが大きく和らぐ見込み。

小売業



業況は△17.1で前期比0.3ポイント増と前期同様の厳しさが続いた。売上額は2.7で8.6ポイント増と増加に転じ、収益は△7.6で1.7ポイント増と若干減益幅が縮小し、資金繰りは△6.9で1.6ポイント減とやや窮屈感が強まった。来期の見通しについては、業況は0.3ポイント増の△16.8と今期同様の厳しさが続く見込み。

サービス業



業況は△34.0で前期比8.0ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は△18.3で12.9ポイント増、収益は△19.7で14.0ポイント増とともに大幅に減少・減益幅が縮小し、資金繰りは△12.4で5.6ポイント増とかなり改善した。来期の見通しについては、業況は4.2ポイント増の△29.8とやや上向き見込み。

建設業



業況は△6.7で前期比0.4ポイント増と前期同様の厳しさが続いた。売上額は1.6で26.5ポイント増と増加に転じ、収益は△5.0で17.6ポイント増と大きく改善し、資金繰りは9.7で13.3ポイント増と大きく容易となった。来期の見通しについては、業況は6.2ポイント増の△0.5とかなり上向き見込み。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

